

渋川市部活動地域展開の方針

I 渋川市の方向性

- 生徒の自主性や責任感、非認知能力の育成に資する様々な意義を有した活動として行われてきた部活動の地域展開について、渋川市が掲げる教育の基本理念「学び合い、励まし合い、ともに生きる」のもと、教育行政方針において、「学校部活動の教育的意義を継承しつつ、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境の整備」を目指すとした。
- これまで学校部活動が担っていた役割や機能を、「新たな地域クラブ活動」体制へと展開し、すべての市民が支え合い、輝き続けるスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進めるため、下記のとおり「方向性」及び「基本的な考え方」を定めることとした。

方向性

生徒が様々なスポーツ活動や文化芸術活動に親しむことができる環境を整備していく

基本的な考え方

- ① 休日の部活動から地域クラブ活動への展開を目指していく
(平日の部活動については、休日の部活動の状況を見ながら協議・検討)
- ② 地域や競技の実情に応じて、できるところから地域クラブ活動への展開を実施する
- ③ 指導者の確保及び地域展開の環境整備を地域と行政が一体となって推進していく

II 部活動地域展開の位置づけ

(1)指導者	(2)活動
■スポーツ協会やスポーツ少年団、文化協会等と協力・連携し、指導者を確保していく ■外部指導者や部活動指導員に地域クラブ指導者として関わってもらう	■原則、学校施設を使用していく ■休日の活動は土・日曜日のどちらかを休養日とし、活動時間は3時間程度とする
(3)管理・責任	(4)保護者負担
■生徒や指導者に対してケガや事故等を補償する保険の加入を義務づける ■生徒の安全・健康面の配慮や、指導者の暴力・ハラスメント等を根絶するため研修を実施する	■参加者による費用負担を原則とするが、可能な限り低廉な金額設定とする ■生徒が自力で移動することが困難な場合、保護者送迎を基本とする
(5)運営団体・実施主体	(6)部会
■しぶかわスポーツクラブをはじめ、スポーツ協会、スポーツ少年団、文化芸術団体、地域団体等	■地域展開に向けた部会を開き、情報共有や運営体制整備を図る ■参加者は、部活動顧問の他、各関係者、保護者、指導者等を想定する

III 今後の進め方

柱Ⅰ 地域展開体制整備事業の実施

- 先行して地域クラブ活動に取り組んでいる「体操」「軟式野球」「バレーボール」「スケート」「バドミントン」について体制整備事業として地域展開の検討を進める。この事業において見えてきた課題や成果を関係者にフィードバックして情報共有を図る(指導・費用・施設・移動・規程)。
- 体制整備事業の状況を参考としながら学校、地域スポーツ・文化芸術団体、保護者、行政等が連携して地域クラブの具体的な協議・検討を進めていく。

地域展開体制整備事業の取組を参考に、地域クラブ活動の運営について部会ごとに協議・検討し、地域展開を推進する

柱Ⅱ 地域との連携による環境整備

- しぶかわスポーツクラブやスポーツ協会、文化芸術団体、各コミュニティ・スクールなどを含む地域との連携・協力体制を築き、地域全体で生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を整備する。
- 持続可能な運営体制を構築するため、群馬県サポーターバンクを活用して、指導者を確保するとともに、(仮称)渋川市地域クラブ活動指導者バンクの設立について検討していく。
- 研修等により指導者の質の確保に努める。

現状・課題

- 解決すべき課題の把握
 - ・指導者の確保
 - ・施設、管理
 - ・規程
 - ・費用
 - ・移動

検討委員会

- 課題に対して関係する部局とワーキンググループを通して課題解決に向けた検討を行う

推進委員会

- 今後の方針や地域展開の進め方などについて外部委員を含め協議・確認を行う

地域全体で子どものスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を整備する

IV スケジュール

令和8年度

- 地域クラブ数の拡充
- 休日の部活動を地域クラブ活動へ展開

令和9年度

- 休日の部活動地域展開についての検証・拡充
- 平日の地域展開の協議

令和10年度

- 休日の部活動地域展開完了
- 平日の地域展開の協議・検討